

『 22世紀社会に向けた数学の貢献 』



百道浜地区には県の産業振興機関である「ふくおかIST」、福岡市の産学官公民連携機関である「ISIT」、九州大学の「学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ)」及び「(株)産学連携機構九州(九大TLO)」が立地しております。これに、伊都地区の「九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)」が加わり、より活発な連携活動を展開すべく、5機関で「ちいむ百の糸(もものいと)」を結成し、地域の皆さまに対し一層の情報提供と研究成果の公開・還元等に努めていこうとイベントを企画・推進しております。

今回のセミナーは、テーマを数学にフォーカスします。現代・未来社会において数学は、永遠に枯渇せず、環境にも優しい”エネルギー”として人類に貢献するものであることを紹介すべく企画いたしました。皆さまの多数のご参加を心よりお待ちしております。

左上画像は、連携のシンボルです。
背景写真は、九大農・日下部教授のご厚意により、ご提供頂きました。

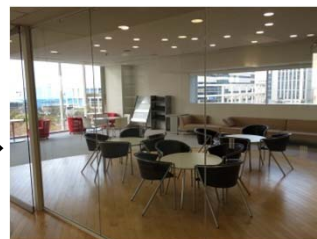
日時 平成27年12月9日(水)

セミナー 14:30~17:15 (14:00 ~ 受付開始) 交流会 17:30~19:00

会場 福岡システムLSI総合開発センター (早良区百道浜3-8-33)

セミナー 2F A-B会議室 交流会 4F 交流サロン →

※センターには駐車場がありません。公共交通機関をご利用下さい。



対象者 どなたでもご参加いただけます

定員：100名程度

参加費 セミナー：無料

交流会：1,000円

プログラム

14:30 開会挨拶

九州大学副理事 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ) 副本部長 古川 勝彦

14:40 「数学が果たす現代・未来社会での役割」

九州大学 若山 正人 理事・副学長 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ) 本部長

本講演では、現代・未来社会において数学が果たす役割について紹介します。

いまや、毎日のようにBig Data, AI, IoT なる言葉が聞こえてきます。しかし、それらの背後に数学があるという指摘はあまり聞こえてまいりません。実際、そうした数学的構造の十分な解明と活用なしには、多くの技術トライアルも陳腐化が早く大きな発展も望めないでしょう。

未来にあって、数学が担うべき役割は、物理学等を通じた伝統的な貢献に留まらず、生命科学やエネルギーの安定供給などにも及ぶ、実験では捕まらないものの発見、予知・予測、効率・最適化などにわたる尺度の提示です。

15:30 「実験しなくて成立する唯一の自然科学・数学への憧れ」

理化学研究所 中村 振一郎 特別招聘研究員

化学系民間企業で計算科学による研究開発をしてきた体験をもとに「たのしい数学にもどろう」という話をします。

趣旨は、元気を失って久しい現在の日本の若い人と、戦後の復興を見事に成し遂げた上の世代との違いは、人の質の違いではなく別の原因にあるという仮説です。進行形の学問細分化と、実験無しで成り立つ唯一の自然科学・数学の浸透度、このバランスに鍵があるという議論です。

16:30 講演者による質疑応答とフリーディスカッション

進行役：九州大学 原田 裕一 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ) 本部長補佐

17:10 閉会挨拶

(公財)九州大学学術研究都市推進機構(OPACK) 事務局長 猿渡 稔

17:30 交流会 (~19:00)

講演者等紹介



九州大学 **若山 正人** 理事・副学長 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ) 本部長

《略歴》

1997年 九州大学大学院数理学研究科教授
 2006-2010年 九州大学大学院数理学研究科院長
 2008年 文部科学省グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」拠点リーダー
 2010-2011年 九州大学高等教育開発推進センター長
 2010-2014年 九州大学副学長
 2011-2014年 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所所長
 2014年 九州大学理事・副学長 産学官連携本部(現学術研究・産学官連携本部) 本部長



理化学研究所 **中村 振一郎** 特別招聘研究員

《ご略歴》

1986年 三菱化成(現三菱化学)入社
 横浜総合研究所 計算科学のグループが設立され、そこに配属される
 1994年 三菱化学横浜総合研究所・計算科学研究所分子科学グループリーダー
 2000年 三菱化学科学技術研究センター・計算科学研究所長
 2007年 三菱化学フェロー
 2007-2011年 東京工業大学大学院生命理工学研究科 連携客員教授
 2011年 理化学研究所 特別招聘研究員



九州大学 **原田 裕一** 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ) 本部長補佐

《略歴》

1994年 日本電信電話(株)入社 基礎研究所 物質材料科学研究部・研究主任員
 2004-2007年 日本電信電話(株) NTT欧州基礎研究所・所長
 2005-2007年 英国物理学研究所 量子計測グループ 客員研究員
 2007年 日本電信電話(株) 物性科学基礎研究所 量子電子物性研究部・主幹研究員
 2015年 九州大学産学連携センター教授 学術研究・産学官連携本部 本部長補佐

【第4回 ちいむ百の糸 ジョイントセミナー参加申込】 FAX番号：092-805-3678 (OPACK宛)

以下の事項をご記入のうえ、本状をFAXでお送りいただくか、または電子メールにてお申し込みください。

ご所属： _____

部署・役職： _____

氏名： _____

電話番号： _____ メールアドレス： _____ @ _____

交流会へのご参加 _____ 参加する _____ 参加しない _____ (いずれかに○をお願いします)

電子メールにてお申し込みの場合は、件名を「第4回 ちいむ百の糸 ジョイントセミナー参加申込」として、上記内容をご記入のうえ、「メール宛先：seminar@opack.jp」までご送信ください。 **申込締切：平成27年12月7日(月)**

※いただいた個人情報につきましては、本セミナー及び「ちいむ百の糸」が行う同種行事の開催目的以外には利用いたしません。



◆会場案内図 (福岡システムLSI総合開発センター)



◆主催

ちいむ百の糸 (もものいと)

【構成機関】

- 公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団 (ふくおかIST)
- 公益財団法人九州先端科学技術研究所 (ISIT)
- 株式会社産学連携機構九州 (九大TLO)
- 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)
- 九州大学学術研究・産学官連携本部 (AiRIMaQ)

※今回は、OPACKとAiRIMaQが幹事機関となり、本セミナーを開催いたします。

◆後援

福岡県、福岡市

◆お問合せ先

九州大学 学術研究・産学官連携本部 (AiRIMaQ) 住田
 TEL：092-832-2121

※車でご来場の方は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。 2 / 2